

# こども環境学会 第8回合同セミナー報告 「こどもたちの文化芸術活動」

合同セミナー実行委員長 坂口淳(新潟県立大)

## 1. 大会概要

日時：2019年9月28日(土)・29日(日)  
場所：いくとぴあ食花 こども創造センター  
主催：こども環境学会第8回合同セミナー実行委員会  
後援：新潟市、新潟県立大学  
参加者数：一般16名、学生2名、美術館・博物館等の職員4名、計22名  
プログラム：9月28日エクスカッション1、合同セミナー、懇親会。9月29日エクスカッション2。

## 2. エクスカッション1「こども創造センターの視察」

浅井俊一センター長からこども創造センターの設立の経緯、センターで実施している教育プログラム等について説明があり、館内を視察した。2階の「あそびの広場」では赤ちゃんから乳幼児、小学生までのこどもが保護者と一緒に遊べる空間づくりがされている。3階・4階ではアスレチック遊具や滑り台など体を動かして遊べる空間が広がっている。新潟のような冬季に屋外で遊べない地域では屋内遊具がある施設の必要性が改めて認識した。

## 3. 合同セミナー

合同セミナーは、基調講演と研究発表・活動報告の2部構成で実施した。

### 3.1 基調講演

基調講演は伊藤達矢氏(東京藝術大学美術学部特任准教授)から演題『社会を変革する新しい学びのコミュニティ』について講演があり、東京都美術館と東京藝術大が共同で取り組んでいる「とびらプロジェクト」と、上野公園の博物館が連携して取り組んでいる「museum start あいうえの」の取り組みについて説明があった。これらの活動は各活動のホームページと講師の伊藤氏の著書「美術館と大学と市民がつくるソーシャルデザインプロジェクト」(青幻舎)で確認できる。紹介された活動は、美術館や博物館などの公共施設の在り方について一石を投じる先進的活動である。従来のハード先行型の文化施設のあり方を脱却し、地域活動の核としてどのように文化施設を作るのか参考になった。

### 3.2 研究発表・活動報告

京都工芸繊維大の高木真人氏の司会により、研究発表・活動報告は5題の発表があり、活発な質疑討論が行われた。発表者・演題は以下の通りである。

(1)金子潤氏(中京大)「はだし教育実施校の児童・保護者の意識調査ー埼玉県内のはだし教育実施校の現状

についてその2ー」

(2)櫻木耕史氏(岐阜工業高専)「岐阜県内の放課後子ども教室等の現状についてー岐阜県内全自治体へのヒアリング調査からー」

(3)當本ふさ子氏(こども環境学会)「精神的・身体的に環境との相互発達を促す要因の分析」

(4)小澤紀美子氏(元東京学芸大)「教育・学びの本質を考えるーその7 次世代育成に関する一考察ー」

(5)富樫豊氏(北陸こども環境研究会)「山村の古民家における日常を来訪者と共に楽しむ」

## 4. エクスカッション2「新潟の水辺環境と食をめぐるツアー」

9時に信濃川下流萬代橋に隣接する新潟日報メディアシップに集合。最上階展望台で信濃川河口の様子を見学。その後、メディアシップ内の新潟市會津八一記念館、にいがた文化の記憶館を見学。水上バス・信濃川ウオーターシャトルに乗船し15分間の川下りを体験。下船後、新潟市歴史博物館・みなとぴあ「布とむかしのくらし展」と旧第四銀行住吉町支店、旧新潟税関庁舎を見学。その後、田中屋本店みなと工房で笹団子づくりの体験を行いました。14時解散。



写真1 笹団子づくり体験

## 5. おわりに

今回の合同セミナーは新潟市で実施しましたが、新潟は、こども環境の研究者が少ないこともあり、教育保育関係機関、行政、博物館の学芸員を中心に呼びかけましたが、合同セミナーの参加者数を確保できませんでした。少人数でしたが濃厚な集まりを開催できたこと、皆様に感謝いたします。

## 参考URL

- ① とびらプロジェクト  
<https://tobira-project.info/>
- ② museum start あいうえの  
<https://museum-start.jp/>